

製品名: ACAA2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84666**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 42 kDa ; Observed MW: 45 kDa

抗原情報

遺伝子名	ACAA2
別名	Acaa2; DSAEC;;ACAA2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P42765
免疫原	ヒト ACAA2 由来の合成ペプチド

背景

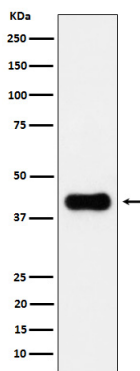
脂肪からのエネルギー産生において、ミトコンドリア β 酸化経路の最終段階を触媒する酵素の一つです。この経路は脂肪酸をアセチ

ル CoA に分解する好気的プロセスです。遊離コエンザイム A/CoA を用いて、中鎖から長鎖の非分岐 3-オキソアシル CoA をチオリシ
シ的に切断し、アセチル CoA と炭素原子 2 つ縮合した脂肪酸アシル CoA を生成します。また、2 つのアセチル CoA 分子を縮合さ
せてアセトアセチル CoA を生成する反応も触媒し、ケトン体の生成に関与している可能性があります。また、様々な脂肪酸アシル
CoA に対して加水分解活性を示します。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の ACAA2 発現のウェスタン プロット分析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

